



No.36 2020.1.28

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム in 滋賀

～学校も地域も元気になるための秘訣とは～



1月24日（金）滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで開催された「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム in 滋賀”に参加してきました。

“地域とともにある学校づくり”推進フォーラム”には今回で4回目の参加となりましたが、年々内容が濃くなっており、それぞれの地域にあった、それぞれの学校にあったコミュニティ・スクールづくりが各地ですすめられているのが伝わってきました。

今回は「学校も地域も元気になるための秘訣とは」とのテーマのもと、第一部のトークセッションでは「持続するために大切なこと」、第二部のトークセッションでは「教職員の役割とは」の視点からのそれぞれのパネリストから実践発表がおこなわれました。コーディネーターとパネリストとの意見交換の中で、「持続するために大切なこと」でも、「教職員の役割とは」でもコミュニティ・スクールの基本である“熟議”と“協働”の大切さを再確認させていただきました。また、“コミュニティ・スクールは漢方薬”という言葉聞き、熟議を重ね、目標を共有し、当事者として協働しながら少しずつ体質改善していくという進め方に、“コミュニティ・スクールは漢方薬”という言葉はぴったりだなと思いました。また、“コミュニティ・スクールは漢方薬”という言葉聞きながら、今の学校現場は仕組そのものをかえるのではなく、パッチワークのようにいろいろなものが張り合わされ、何を目指しているのかがわからなくなっている状態にあるのではと思いました。そう考えるとコミュニティ・スクールは、学びと育ちの仕組づくりに向けた改革であり、今の仕組で機能しなくなったものをスクラップし、新たな学びと育ちの仕組をビルドしていく、Scrap&Build であり、パッチワーク型の対応からの脱却になるのではと思いました。

会場に見覚えのある明石の先生の顔を見つけた時、明石でもコミュニティ・スクールという漢方薬での体質改善が始まっているんだなとうれしくなりました。

第2回松が丘プロジェクト活動



1月22日（水）に第2回松が丘プロジェクトが実施されました。第1回プロジェクトと同様高齢者施設での高齢者とのふれあいと松が丘ガーデンでの花壇の手入れや各地区に分かれての清掃活動などが行われる中、自分たちに地域に花を植えようという活動が加わりました。花を植える様子を見て、子どもたちと地域の方の距離感がすごく近いのを改めて感じました。これも1年生の時の「松っ子教室」がスタートになっているんですね。

この地域では「ゴミ出し」のお手伝いもスタートしました。



子どもたちが花を植えたプランターは地域の掲示板の下に置くことになりました。その掲示板をみると、子どもたちが計画した「楽学交祭」や、地域向けの図書室開放や「大人も楽しむ外国語教室」のお知らせが張ってありました。こうした回覧や掲示板での案内やお願いなども地域の方に

相談する中で教えて頂いたことです。ちょっとしたアドバイスや目に見えないところで子どもを支え、協力していただける地域の皆さんに感謝です。

朝霧でも二見北でも少しずつ

朝霧小では



“ふるさと「朝霧川」を守ろう！”

地域の方からは「こんな街の中なのに、川がきれい」という声が聴かれました。11年間地道に活動を続けられてきた「守ろう会」の活動のおかげです。そうした活動に触れることができたのもコミスクの取組として計画・実行したことがきっかけです。

朝霧小ではこれまであった活動をベースに人が集い、つながる仕組みをつくっていかうとされています。また、まちづくり協議会の中に「あすあさ会（明日の朝霧を考える会）」を立ち上げ、今までの活動を見直しながら、これからの朝霧のまちづくりを考え、これからの朝霧のまちを支える子どもたちを育てる仕組みを熟議を重ねながら具体化していかうとされています。

二見北小では



“きらきらさん”は地域のお母さんによる読み聞かせボランティアです。毎週いずれかの学年で、朝のおはようタイムに絵本の読み聞かせをしています。子どもたちの情操の発達や読書への興味付けだけでなく、教師にとっても朝の打ち合わせ間の読み聞かせは本当にありがたいです。

“キタザニア”はまちづくり協議会、二見北商店街主体で開催する夏祭りの様々な職業体験コーナーです。子どもたちが様々な職業体験しています。こうした体験から子どもたちの興味が広がっています。

“外国語活動の授業のサポーター”はALTの英語の授業で一緒に入っている普段はスクールガードをされているボランティアさんです。流暢な英語でALTや教員と会話し、授業を盛り上げていただき、身近な人が英語を話す姿を見て、子どもたちの英語への関心が高まっています。

このように二見北小でもこれまであった活動を見直し、意義付けする中で学校づくり＝地域づくりを目指そうとされています。

“コミュニティ・スクールは漢方薬”の言葉のように、取り組むことにより少しずつ未来を創り地域を支える子どもが育つ仕組みに体質改善されていくのだろうと思います。

苫野一徳先生共に考えるコミュニティ・スクール自主研修会参加受付中

苫野一徳先生と一緒にこれからの学校・地域づくりを考えてみませんか

2月14日（金）17：00より、商工会議所7階ホールにて

問い合わせ・申し込み

電話 078-918-5055 （明石市教育委員会学校教育課 本所・北本）

（文責：北本）